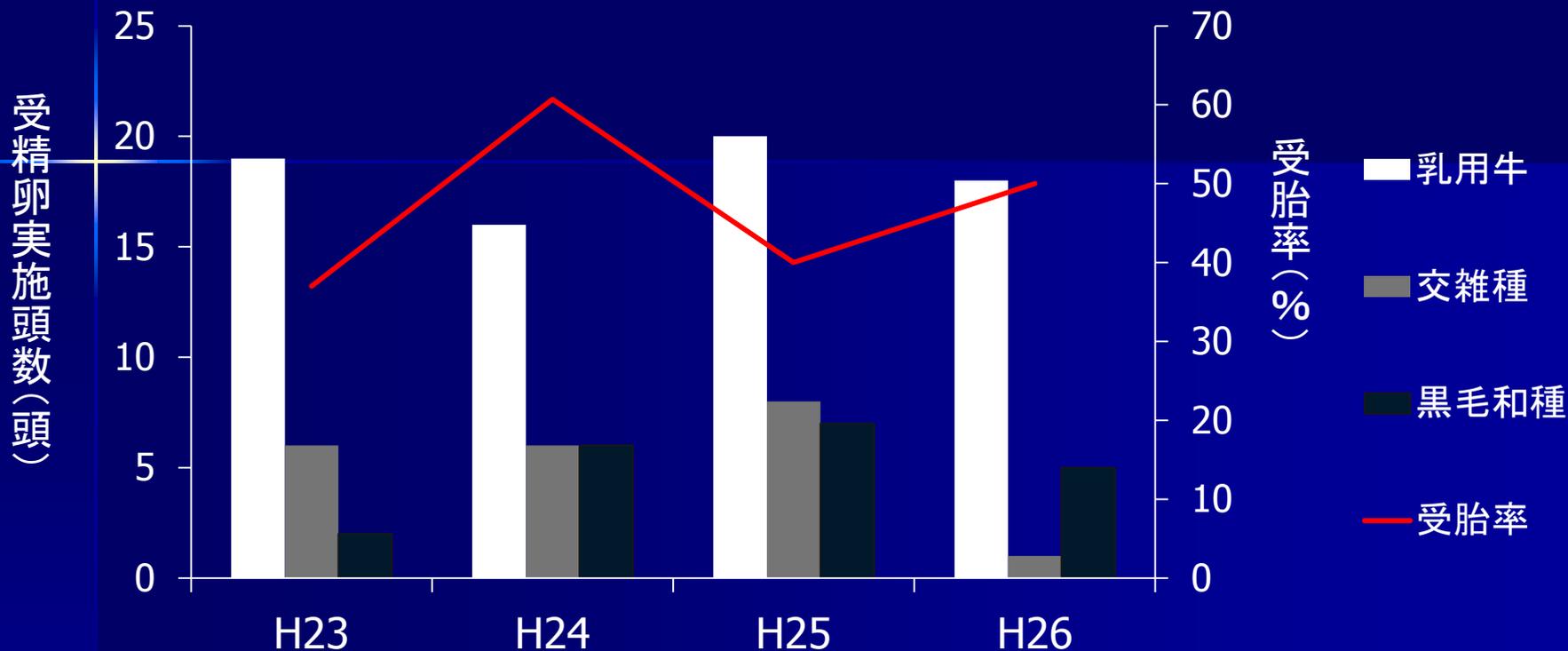


平成20年度肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業による枝肉成績取りまとめより

図1 熊野牛の現況



この間に生産された雌牛15頭中13頭が保留

図2 管内受精卵移植実施頭数及び受胎率の推移

* 現存牛の出し方
 紀北 各年度当初に繁殖雌牛として飼養
 県平均 解析の3年前2月以降に最終分娩

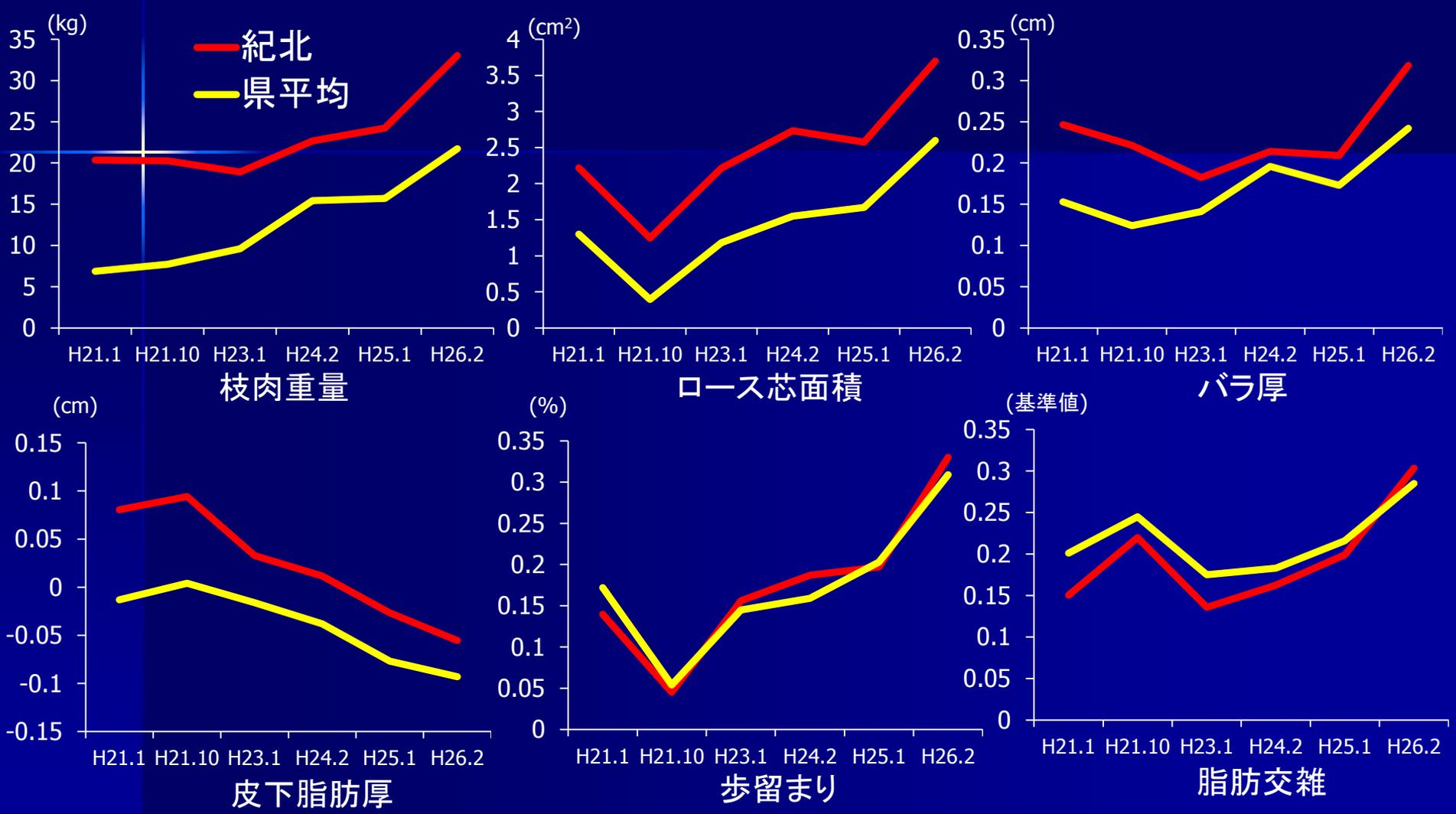
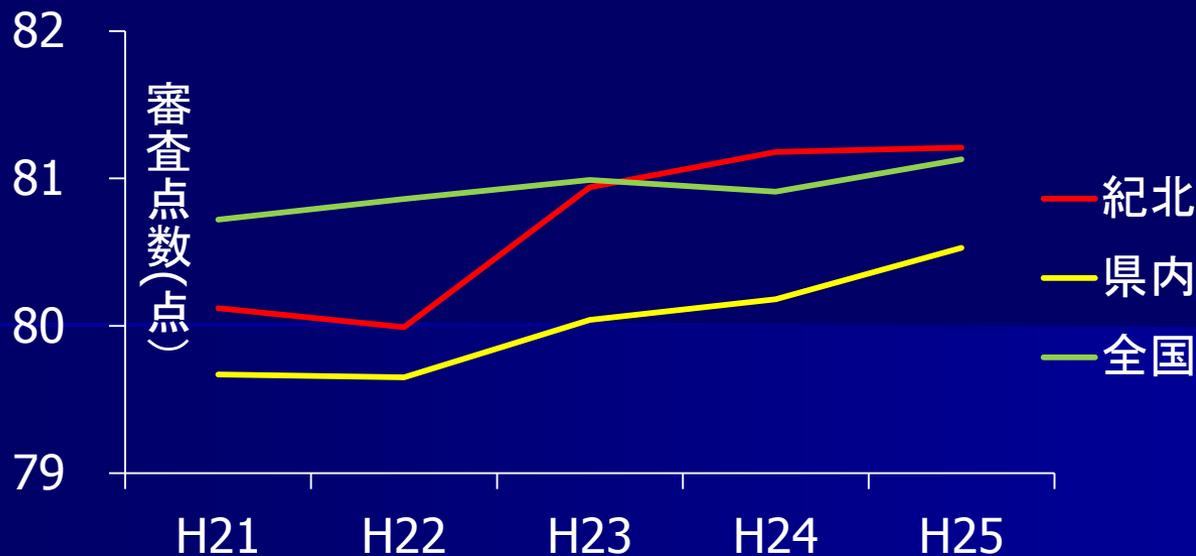


図3 産肉能力の育種価の推移(現存牛)



基本・本原登録審査点数の推移

高等登録の実施

高等登録はある程度生産に用いられ、繁殖成績や産子成績が判明し、血統・体型・繁殖成績・産子成績・不良形質・育種価に関する6つの資格条件を満たした種牛に対して与えられる最高の登録。(和牛登録事務必携より)

本県では十数年ぶりの高等登録審査を管内で2頭実施

平成26年7月 審査研修会と同時開催

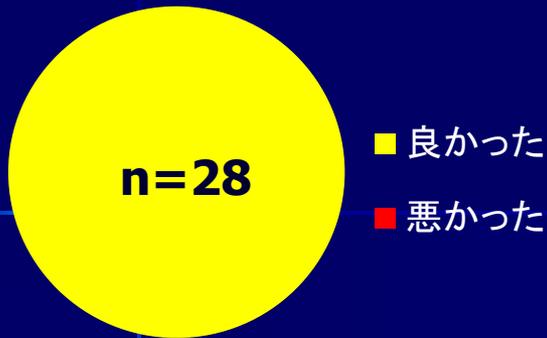
平成26年11月 紀北種牛共進会と同時開催

図4 基本・本原登録審査点数及び高等登録実施状況

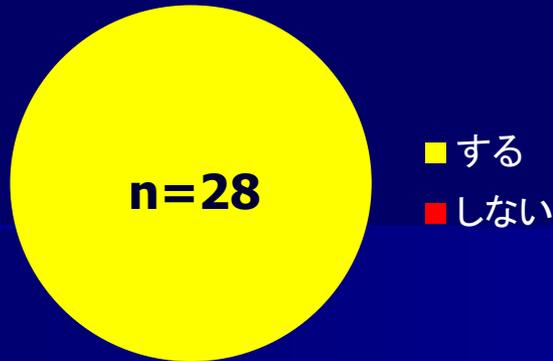


图5 共進会風景

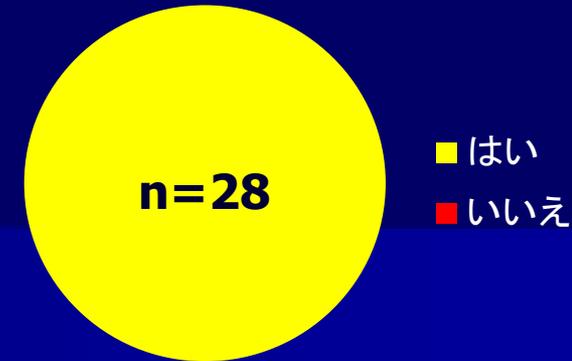
共進会の開催について



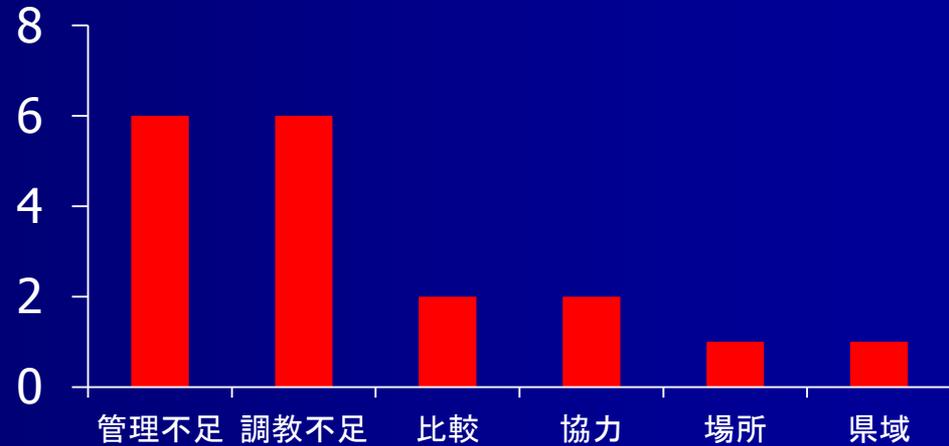
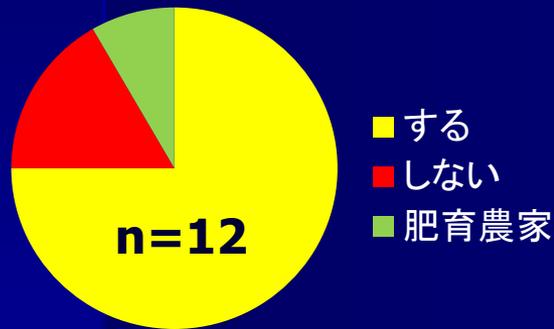
次年度以降の開催



改良につながるか



次回出品するか



自由欄への記入事項

図6 紀北種牛共進会アンケート調査結果